

体感！体験！

『総合的な探究 実践ノート』

特別授業

～来るべき新課程大学入試・社会で
求められる「問い合わせ」の立て方を考える～



対象者 ※事前申込みが必要です。

(1) 新課程入試を迎える現・高校1年生とその保護者

※定員：生徒20名とその保護者
※中学3年生・高校2年生も申し込みます

(2) 現役の中学校・高等学校の関係者

※定員：40名

参加費用

(1) 生徒および保護者...無料

※会場までの交通費はご負担ください

(2) 学校関係者...研修費（資料代を含む）1,000円

※お釣りのないようお願いいたします
※領収書が必要な方はお申込時にお申し出ください
※会場にお越しの際は名刺を2枚ご持参ください

2/22

2023年
(水)

17:30-19:00 (2)学校関係者は19時30分まで
17:00 受付開始 (サピアタワー3階にて)



立命館 東京キャンパス

東京都千代田区丸の内
1-7-12 サピアタワー8階

※事前申込者以外は
立入りができません。



本弓 康之 先生

筑波大学附属
坂戸高等学校

主催：ESN 協賛：増進堂・受験研究社
協力：立命館アジア太平洋大学（APU）

詳細・お申し込みはこちら
<https://zj20230222.peatix.com/>



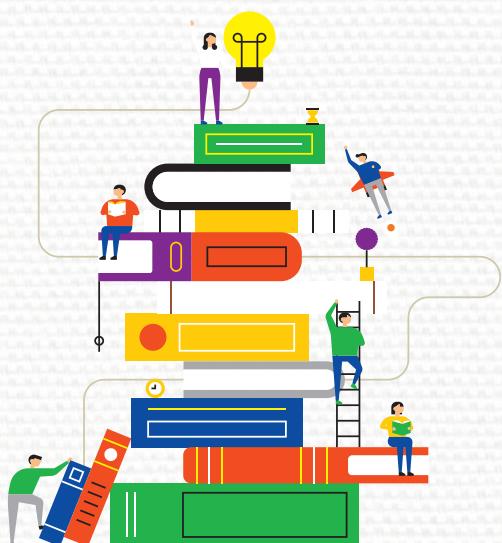
これからの中試と社会で求められる 「学び」「指導」に向き合う。

「総合的な探究の時間」や「情報I」が高等学校で必修化され、知識を効率的に獲得し、一定のテスト形式でアウトプットすることが求められたこれまでの教育観・学習観が、知識の獲得の仕方や自らの学び方や資質などの特性も含めた「学びのプロセス」を重視する流れへと変革していきます。

大学入試もこれから様変わりして、知識の多寡が問われ、それに対応するために手軽な覚え方や効率的な成績の上げ方を意識する学習では、多くの入試で対応ができなくなります。

自分はどのような人間で、どんなことに関心があり、どのような力を身につけて、それを発揮したいのか。常に考え、状況に応じた学びを続け、周囲の環境・人から知識のみならず学ぶ姿勢も吸収し、違いを尊重しあう。大学や社会でも活躍できる学習者を輩出していくきっかけになる教材として、このたび、国際バカロレアでの TOK（知の理論）のエッセンスを、日本の「総合的な探究の時間」での学びに適応させた『総合的な探究実践ノート』が ESN の編著として、増進堂・受験研究社から出版されました。

その執筆者の一人である本弓康之先生（筑波大学附属坂戸高等学校・教諭）に、この『総合的な探究実践ノート』の一部を使った授業を展開いただいて、新課程入試を迎える現役生に体験してもらいます。



IB認定校でのTOKをベースにした授業を体験・見学できる
絶好の機会です。

保護者の方には、別室から授業の様子をモニター越しに見ていただき、探究の授業を感じていただきます。

当日は、教員研修を兼ねるため、授業見学に学校関係者が参加します。
当日は講義およびインタビューを撮影し、参加者にはアンケートに答えていただきます。
それらは、研修用資料として、ESNと増進堂・受験研究社が限定的に利用する予定です。